

(2)県（一部国）へのインフラ整備・中小企業対策等の提言・要望

- 西三河商工会議所連合会とトヨタグループ協同による申し入れ
- 愛知県商工会議所連合会による申し入れ
- 碧海5市商工会議所・商工会による申し入れ

(3)市、及び関係団体への提言・要望

- 刈谷市へ商工業振興・まちづくり等の提言・要望
- 名古屋鉄道へ三河線利便性向上に向けての要望

#### 4. 社会貢献と企業ブランドの両立

(1)『安心・安全ネットワーク事業』の維持拡大

- 警察の交通安全・防犯活動等への適宜適切な協力対応
- 市民への防犯・交通安全に関する啓蒙活動
- 地域における防災・BCP等への取り組み

(2)『刈谷式CSR/CSV』実践による企業ブランド確立

- 企業の社会貢献と社会福祉協議会など関係団体のマッチング（CSR）
- 社会的課題に役立つ製品・サービスのPR・促進支援（CSV）
- 報道機関への効果的な広報支援による企業認知度向上

#### 5. 会員サービスの充実による満足度向上

(1)組織基盤の強化の為の会員企業の維持拡大

- 情報収集に基く未加入企業の会員勧誘
- 役員・関連団体との協働による事業所紹介活動

(2)会員サービスの充実と財政基盤の強化

- プレミアム共済（従業員への福利厚生）の加入者特典の拡大強化
- 会員企業のメリット拡大に繋がる補償プラン推進
- 健康診断（健康経営に基く経営者・従業員の健康増進）
- 会館利用者増大に向けた活用の提案・懇親会のプロデュース
- 日商プログラミング検定試験（新規）の導入推進・従業員のキャリアアップ支援

(3)運営基盤の強化と危機管理への対応

- 各部会・青年部・女性会とのより一体感のある施策の推進
- ・青年部東海ブロック大会の開催支援（若手後継者等育成事業）
- 衣浦定住自立圏構想における産業振興面での取り組み支援
- 会議所のリスクマネジメント・コンプライアンス遵守の徹底

## 2019年度 刈谷中小企業相談所事業計画

刈谷中小企業相談所の直面している緊急の課題は、中小・小規模企業が置かれている厳しい状況下で生き残るために、「働き方改革の推進」、「ダイバーシティ経営の推進」、「労働力不足解消」、「消費税対策」に向け、「必要な情報」と「必要な経営支援」を迅速に提供することにあります。

これらの課題を克服するためには、各企業がイノベーションの創出など、価値創造につなげることが求められます。

特に、人手不足は深刻な状況で、まさに喫緊の課題であります。国内の人材獲得が難しくなっている中、優秀な外国人労働者を積極的に雇用したくても、肝心の人材が刈谷に集まらない可能性もあります。

そこで、『外国人雇用研究会』を創設し、外国人の雇用支援についても「待つ」のではなく、求める人材に直接アプローチする「攻め」の採用に対し積極的に取組むなど、従来から実施している「現場主義」「双方向主義」という行動指針のもと、今後も、「巡回指導」「窓口指導」を活動の柱に据え、多様化する小規模事業者の経営課題やニーズを的確に把握し、従来の枠組みや慣例にとらわれない積極的な支援体制の構築を図って参ります。

#### 1. 地域中小企業活性化支援事業

中で、昨年度創設した『女性経営研究会』では、女性活躍推進に向け様々な勉強会を実施し、「刈谷モノづくり大学」（企業体質の強化）では、「創業・新事業展開の促進」「経営基盤の強化」「経営環境の変化への円滑な対応」など、それぞれの企業が抱える様々な「経営課題」の洗い出しから具体的な「改善方法・解決策」の提案など、課題解決や各種「補助金・助成金」の採択に向けより実践的な指導を行う。「刈谷モノづくり大学・大学院MBA」では、「モノづくり大学教授陣」と経営指導員との連携により、中小・小規模企業が抱える経営課題克服への支援体制を更に充実させ、モノづくりの現場を支えている「人」を育て、「モノをつくる力」、「新たな付加価値を生み出す力」に対して経験豊かな専門家を直接派遣するなど、選択と集中とのベストミックスにより現場に潜む「課題（問題）」を明らかにして解決策を提案する活動を幅広く実施いたします。

一方「かりや商人大学・大学院」では、消費者の購買行動が変化する中で、地域に今ある顧客のニーズを反映し「商品やサービスのあり方を変える」という視点を持って、「待ち」から「攻め」に転じる取組として実施いたします。